

ご自由にお取りください



# くまぶ

徳島東部 12市町村

mu  
su  
bu

Vol.2

徳島東部 12市町村 くまぶ Vol.2

2013年3月発行 発行 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局 〒770-8571 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市企画政策局企画政策課内 ☎088-621-5085 編集・印刷 太陽高速印刷 有株式会社

歴史のヒント  
すくも  
薬について [上板町]

定住自立圏取組情報  
産業振興事業 (12市町村連携事業より)

市町村特集  
たぬきでユニークな町づくり 小松島市  
人が元気・暮らしが安心  
未来を広げる 松茂町

ブランドのチカラ  
(株)高鉦建設酒販事業部 [上勝町]  
藍の館 [藍住町]  
昭月堂本店 [北島町]  
株式会社 北谷 [徳島市]  
(株)神山温泉 神山匂感工場 [神山町]  
クイズで商品ゲット

# 人を 結ぶ

久米 康啓さん 石井町農業後継者クラブ 会長(石井町)



## 子どもらの笑顔に感謝

Q お生まれは・・・?

町の中心地高川原で1967年に生まれました。とは言っても当時は農地が多く住宅、商店は点在していた程度でした。小さいころ近くの飯尾川で水遊びをしたり、「天神さん」で木登りをした記憶があります。

学生時代は、スポーツ好きで陸上競技や水泳、バレーボールに夢中になりました。今も名残で体協のバドミントン部に所属し週2回汗を流しています。会社勤めを2年程経験し、現在は「百姓一」の役員をしながら花卉を中心に農業に従事しています。

「百姓一」は野菜を中心に卵や花、乳製品、加工品を常時40数軒の農家の方が出品して町内外から多くの方がお買い求めになっています。

Q 農業後継者クラブの活動は・・・  
主にイベントでお店を出したり、学童農園を行っています。農園では藍畑幼稚園や高川原小学校の子ども

達に「じゃがいも」「さつまいも」などの植え付けや収穫体験をしていただいています。自分たちで作った作物を焼き芋やふかし芋にして食べると本当においしそうです。天候によってたくさんできたり、うまく出来なかったりしますが、子ども達に対し、地産地消また食育に生かせることが私たちににとっては宝物になります。

夏まつりでは焼き芋のお店をだしたり、昨年11月の「とくしま食材フェア」では多くの方とふれあうことができました。

Q 生まれ変わったら 何処に住みますか・・・

この町石井町かな。町にはお店や病院など公共機関もそろっているし、交通手段も悪くない。日常生活には結構満足しているから、町の良さが案外気がつかないのかも。独身なので、彼女がみつかったら町を紹介しながらデートしたいですね。



〈百姓一〉情報・・・・・・・・・・・・・・・・  
営業時間 8:30~18:00  
休み 毎週水曜日  
住所 名西郡石井町石井字重松639-5  
電話 088-674-7377  
・・・・・・・・・・・・・・・・



## 次号予告

平成25年9月発行予定

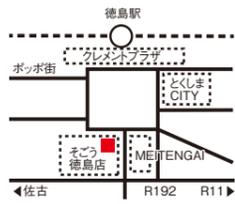
- 市町村特集 勝浦町・北島町
- 定住自立圏取組情報
- ブランドのチカラ プレゼントが当たるクイズもあります。

## 冊子の設置場所

12市町村役場 / 徳島市立図書館 / 小松島みなと交流センター-kocolo / 道の駅「ひなの里かつら」 / いっきゅう茶屋 / 佐那の里 / JR石井駅 / 神山温泉 / 松茂町歴史民族資料館 / 北島町立図書館・創世ホール / 藍住町立図書館 / あせび温泉 / 枝の館 (ほか)

「徳島東部地域定住自立圏」とは!? 「くまぶ」って!?  
徳島市を中心として周辺の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「=くまぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】  
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町



徳島市観光ステーション  
「とくしま旅づくりネット」  
徳島市元町1-24アミコビル地下1階  
Tel 088-635-9002  
営業時間9:00~19:30

facebook



かわにへズ(徳島市観光ステーション)

スタッフの声

観光案内コーナーでは、県内外を問わずたくさんの方から質問を頂き、私たちにとってあらためて徳島を知るきっかけになっています。  
ぐるとくサイクルコーナーでは電動アシスト付自転車や電動バイクのレンタルもありますので徳島市周辺を観光される際は是非ご利用ください。また、物産コーナーには、徳島東部地域の特産品がずらり!!!  
数多くの方々に徳島東部地域の魅力を知っていただけたらと思います。どうぞお気軽にお立ち寄りください。  
金鈞 理恵



季刊誌「とくしま旅づくりネット」  
年4回発行し、季節ごとに旬のテーマを決めて12市町村を巡ります。1泊2日コースやプレゼントコーナーなど見どころ満載です。

ルートマップ  
12市町村の観光スポットやイベント・特産品などを中心にエリアマップとともに紹介。



昨年4月20日オープン  
広域観光案内ステーション  
広域的な観光情報の発信や物産案内の拠点施設として、アミコビル地下1階に徳島市観光ステーション「とくしま旅づくりネット」がオープンしました。ここには徳島東部地域の観光案内・イベント紹介に加え、特産品などの展示販売コーナーも充実しており、公式キャラクター「かわにへズ」のオリジナルグッズ(Tシャツ、ぬいぐるみ、ピンバッジなど)も多数取り揃えています。  
同所を利用した観光客からは「明るい雰囲気のお店で、とても利用しやすいかった」との声も。オープン以来10か月で約4万人の方が利用されました。また、同所では電動バイク・電動アシスト付自転車のレンタルを行う「ぐるとくサイクル」もあり市内散策や連携市町村への移動手段として好評です。



広がる「IPPIN店」  
とくしま食材フェア開催  
地元食材を使ったメニューを提供する「とくしまIPPIN店」は平成25年1月現在132店舗を超え、徳島の食材の魅力を満喫できるお店を紹介したパンフレットが好評です。  
平成23年にはアミコ2階デッキにて「とくしま食材フェア2011」を開催しJA、米穀協会、とくしまIPPIN店、佐那河内村や上板町など19ブースが出店。昨年11月には同2012を場所を藍場浜公園に移して2日間開催。JA徳島市をはじめ約40団体(市町村含む)やIPPIN店7店が参加して、例年以上の盛り上がりを見せました。約2万人の来場があり地元新鮮食材や特産品の試食などを楽しんでいたいただきました。

特産品ブランド化  
地産地消推進事業

musubu NEWS

産業振興事業

「12市町村連携事業より」



榎山 昌史  
上板町教育委員会 学芸員係長

阿波藍製造技術保存会事務局を担当し、同会の活動を手伝っています。上板町の南側は吉野川に接していますが、その流域地域は洪水などの被害に悩まされていました。洪水で土砂の流入がくり返されたことから、稲作を行うには難しく、それに代わるものとして、先人たちが考えたのが藍作でした。この藍作が日本の伝統的な染織を支えることになるとは、驚きです。



上板町立歴史民俗資料館

板野郡上板町泉谷字原中筋8番地1  
Tel.(088)694-5688  
開館時間/9:00~16:30  
休館日/月曜日、土曜日、日曜日、祝日、12月28日~1月4日  
入館料/大人210円、小人100円  
駐車場/15台程度

染づくりの工程の解説と関連する道具を常設で展示しています。他に、和三盆糖づくりについての資料もあり、現存する伝統の技術を知ることができます。また、民俗資料、歴史資料、農具なども多数展示して、小学生などの地域学習に利用されています。



日本の伝統的な染織を支えている阿波藍に興味・関心のある方は是非上板町におこしください。

- 染づくりの流れ
- 種蒔き(3月上旬)
  - 苗取り(余分な苗の抜き取り。4月上旬)
  - 定植(4月下旬~5月上旬)
  - 施肥(根寄せ(5月上旬~6月下旬))
  - 葉などの刈り取り(6月下旬~9月上旬)
  - 刈り取り後、茎葉の選別と葉の乾燥を行う「藍こなし」(6月下旬~9月上旬)
  - 乾燥させた葉(葉藍)を寝床と呼ばれる作業場で発酵させる「寝せ込み」(9月上旬)
  - 寝せ込みの後、4、5日毎に葉藍に水をかけ混ぜ合わせる「切り返し」約100日かかります。9月中旬~11月。期間中には葉をほぐす「通し」10月下旬 11月下旬 授産(10月)も行います。
  - 葉を吟(種)の袋に詰め、全国の染物業者などに出荷(12月中旬以降)となります。

歴史の  
ヒント

菜すくもについて

徳島県を代表する特産物の一つに、藍染めがあります。これは、染料「菜」を用い染められますが、タデアイという植物からつくられています。上板町はその栽培面積が全国一位(約9割)。全国では約24%。平成19年度実績)で、菜も多つくられています。この菜、実は徳島県だけでなく全国的にも大きな影響を与えています。  
まずは、菜の歴史を少々説明します。1445(文安2)年の「兵庫北関入船納帳」に、阿波の藍が撫養などから畿内に向け積み出された記録があり、この頃には既に菜づくりが行われ、それが県外で使われていたことがわかります。1781(天明元)年には、菜製造法の改良がなされ、高い品質を維持することができブランド化しました。1804(文化元)年頃から1860(万延元)年頃の間、菜・藍玉(固形の菜)の生産量は年平均で1万1千ト以上でしたが、1900(明治33)年頃には、インド藍や化学合成染料の輸入量増加から、1904(明治37)年以降生産量は減少し、1965(昭和40)年には、12トにまで減少しました。

ただ、国内の染織作品の多くに藍が用いられ、その修復と伝統染織の技術にとって菜は欠かせないことができません。それを守るため、県内の菜づくりの技術は1978(昭和53)年、阿波藍製造という名称で国の選定保存技術に定められました。同年、その技術の保存団体「阿波藍製造技術保存会」が結成され、後継者の養成や製造技術の記録保存等の活動を行っています。

上板町では、昨年7月から地域おこし協力隊の事業で、藍染めを通じて地域力の維持・強化を図る活動を行っています。また、技の館では藍染め体験を、歴史民俗資料館では阿波藍製造の関連資料を展示し、菜づくりの保護・振興に努めています。



小松島市観光PR用  
マスコットキャラクター  
こまボン



大将・金長  
参謀長・衛門三郎  
旗本  
藤の樹寺の大鷹  
忍者・一本松のおたけ  
藤の樹寺の小鷹・熊鷹  
軍師・田浦太左衛門

# たぬきでユニークな町づくり

市内をぐるり巡るとたぬきに  
関するものが溢れています。金長  
だぬき郵便局、市バスの車体外観  
にたぬきのイラスト、公園内の彫  
刻など。極めつけは、たぬき広場の  
銅像です。高さ5.5メートルのたぬきの銅  
像は世界一の大きさで、小松島のシ  
ンボルとして親しまれています。  
そもそも小松島にたぬきにまつ  
わる話が多いのは、民話「阿波の狸  
合戦」の舞台が小松島を中心に展  
開されているからです。藩政当時  
の民話でたぬきの金長と染物屋の  
主人、茂右衛門の人情話を明治時  
代に大阪の講談師が演題に取り  
入れて、大きな話題を集めました  
た。その後、昭和13年に「天下分け目  
の阿波たぬき合戦」として映画化  
され大ヒットになりました。こう  
いった理由から小松島とたぬきの  
結びつきが深くなりました。  
平成3年、金長たぬきをモチーフ  
に市内の若者が小松島市創作太鼓  
振興協会を結成し、和太鼓のイ

イメージを一新した演奏も繰り広げ  
ています。また平成10年には金長民  
話を語り継ぐ「阿波狸合戦講談  
語り部養成塾」を開講してたぬき  
をテーマにユニークな町づくりが行  
われています。  
**国際貿易港として  
発展めざす**



四国最大級のコンテナ荷役用  
ガントリークレーン

小松島に入港する外国船の多く  
はアジア、アメリカから木材や紙の  
原料となるチップや貨物コンテナ  
を運ぶ船です。小松島は日本有数  
の木材の輸入港なのです。県内最  
大の4万ト級岸壁のほか、赤石地

**港まち健在**  
港まち小松島ならではの美味しい  
魚介類の販売を行う海鮮朝市が  
好評です。施設内の産直市では常  
時新鮮野菜や果物が並べられ多く  
の買い物客で賑わいます。  
毎月第4土曜開催 場所／小松島みなと交流センター 小松島市小松島町新港19  
問い合わせ ☎0885-32-3809(小松島市産業振興課)  
時間=8:30~12:00(なくなり次第終了) 駐車場200台  
海鮮朝市

区には1万5千ト級岸壁に大型  
コンテナ船の入港に備えたガント  
リクレーンが設置され、東アジア  
の玄関口となるよう整備されてい  
ます。

# 人が元気・暮らしが安心 未来を広げる



## 徳島県の玄関口

松茂町は空と陸の交流拠点  
を持つ徳島県の玄関口です。  
徳島県の空の玄関である徳島  
阿波おどり空港は、松茂町の面積  
の13%を占め町のシンボルとなつて  
おり、年間約81万人の乗客を運び  
多様な交流の拠点として町の飛  
躍に大きな影響を及ぼしてきま  
した。  
また、陸の玄関、徳島とくと  
くターミナルでは、県内各地の物  
産、特産品などのお土産を揃え  
賑わいを見せており、長距離バス  
の停留所が近接し本州方面への  
乗客が多く利用しています。  
さらには、現在整備が進めら  
れている四国横断自動車道に  
(仮称)松茂スマートICの設置  
(平成26年度供用開始予定)を進  
めており、四国横断自動車道が  
県道徳島空港線を介して徳島  
阿波おどり空港と直結し、空港  
へのアクセス向上や津波災害時  
等による避難・復旧支援の物資  
輸送路の確保など、大きな効果  
が期待できます。



みずみずしい  
阿波おど梨とホクホクした  
甘さの松茂美人

## 全国へ羽ばたけ 松茂の農産物

松茂町でブランド化されてい  
る農産物といえば、さつまいも  
「松茂美人」と日本梨「阿波おど  
梨」があります。  
「松茂美人」は、全国的に有名  
な鳴門金時の中でも松茂町で栽  
培されるものに限って名付けら  
れた名称です。生の果肉はク  
リーム色をしており粉質で、これ  
を焼くなど加熱すると黄金色に  
なり、ホクホクとした甘い芋に仕  
上がりです。また、果皮は全体  
にムラのない色鮮やかな紅色を  
しており非常に美しく、これが  
「松茂美人」の名前の由来です。  
出荷時にはさらに美しく仕上げ  
られ「箱入り娘」よろしく、四国一  
円はもとより、広く京阪神・東  
京・名古屋などの市場へ運ばれて  
いきます。  
また、「阿波おど梨」は、松茂  
町で収穫される幸水梨及び豊水  
梨のブランド名です。幸水梨は、  
酸味が少なく糖度が高い品種  
で、果肉は柔らかく果汁も豊富  
です。他方、豊水梨は、幸水梨よ  
りやや大きめで、果汁が多く、程  
よい酸味と濃厚な甘味のバランス  
が良い食べ応えのある品種です。  
松茂町が誇るこの2大ブラン  
ド品、是非一度お試しください。

## わたしの ふるさと自慢



小林 通伸さん  
松茂町商工会 会長

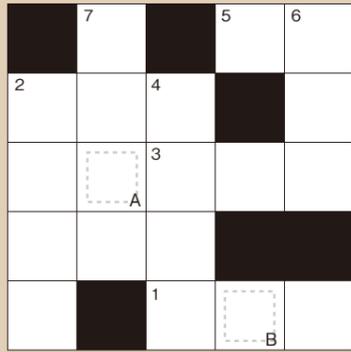
松茂町は空港やバスターミナ  
ルを擁する県の玄関口でスマ  
ートICも計画されており、交  
流拠点としての役割が増々大  
きくなります。そうした中、町内  
の主だった団体が開催してい  
る「スカイフェスタ松茂」や、な  
ると金時「松茂美人」を使った特  
産品開発等、町をあげて松茂  
町のPRに取り組んでいます。  
そこには長年培ってきた地域  
住民、農漁商工業者の繋がりが  
あります。将来も様々な地域  
振興に活かせる人的ネットワ  
ークが松茂町自慢の財産です。

## おすすめイベント

### スカイフェスタ松茂

毎年9月下旬に月見ヶ丘海  
浜公園で、スカイフェスタ  
松茂が開催されます。  
当日は、芋掘りなど体験型  
のイベントのほか、音楽ラ  
イブや模擬店の出店など  
があり、多くの人でにぎわ  
います。





**クロスワードパズルを解いて商品ゲット!**  
プレゼントの中から抽選で9名様に、プレゼントが当たります。

PRESENT



- ヨコ**
1. 檜原、八重地といえば〇〇〇
  3. 温州といえば〇〇〇
  5. 小松島港まつりでは、は〇〇が盛大に打ち上げられます
- タテ**
2. ビッグひなまつりは〇〇〇〇町で開催されます
  4. 力餅が行われる大山寺は〇〇〇〇町にあります
  6. 徳島市の〇〇〇〇ロープウェイは年中無休
  7. 月見ヶ丘〇〇〇〇公園は松茂町にあります

答え  
A B まつり

**応募方法**  
官製はがきに、①クロスワードパズルの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上 〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係 へ2013年5月10日(必着)までにお送りください。  
(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)  
【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

**編集雑誌** Vol.2

**板野町** ベンネム 春待ち人  
あせび公園  
寒さもやや緩み、あせび公園に2,000本あまり群生するあせびの見頃が近づいてきました。  
大坂峠からあせび公園まで、ピンク色の桜の花と小さく白いあせびの花の競演を楽しむながら散策し、大坂峠展望台から北は瀬戸内海公園、南は眉山・吉野川平野など風光明媚な景色を望んだ後、あせび温泉にゆつくりつかり疲れを癒す。そんな日を過ごすのが楽しみです。  
みなさんも板野町にお越しの際は、是非お立ち寄りください。

**佐那河内村** ベンネム 里山ライダー  
わき見に注意  
晴れた日はオートバイ通勤。  
車載温度計を気にしながらセルスタート。いつもの右カーブで信号をチェックしながらバイクごと体も倒す。直線約1.5km、左に水量の減った園瀬川、お店を過ぎると郵便局、少し昇りの左カーブから右カーブに差し掛かる所に大宮神社。左遠くには大川原高原にまだ残雪。再び直線、同僚が追い抜く。通学を急ぐ小・中学生。朝早いJ.Aではコンテナを積みこんでいる。役場到着。この間温度が2〜3度変わる。わずか5分の通勤時間。  
風が運ぶ桜、稲穂、金木犀、田作りの香りに季節を感じながら、自然と体化した瞬間がバイクの魅力です。  
佐那河内は「風の恵み」をいただいている村です。



**表紙の写真**  
第8回坂本おひな街道でのイベント「ヒナコン〜おひな様気分〜」にて、小松島市在住の新郎新婦・中山さん。今年、第25回ビッグひな祭り・第12回おひな様の奥座敷で勝浦町は「おひな様一色」となる。



**株式会社 北谷 [徳島市]**

**こだわりの心が生む 極上のキットファニチャー**

革張り木製家具の老舗、(株)北谷は長年研究開発した独自の技術を持ち、国内の木製家具コンクールで数々の名誉ある賞を受賞しています。  
染色加工した仔山羊の皮を特殊合板に貼り、表面に世界でも最高水準の樹脂加工を施したキットファニチャー

**株式会社 北谷**  
●徳島市国府町日開539-1 ●TEL.088-642-1360  
●http://www.kit-furniture.co.jp



**(株)神山温泉 神山旬感工場 [神山町]**

**神山を丸ごと詰め込んだ ドレッシングとサイダー**

全国で流通する、すだちのほとんどは徳島産です。なかでも神山町はすだち発祥の地と言われ生産量は日本一です。「神山まるごとドレッシングとすだちサイダー」は町内でも特に品質が良いと言われる鬼籠野産すだちを贅沢に使った逸品です。神山まるごとドレッシングにはすだちを始め、梅、お茶など神山の特産品がギュギュッと凝縮されています。またラベルのデザインはお洒落で明るく女性を意識したものになっています。神山温泉売店、道の駅、高速道路のサービスエリアなどで販売中です。

**(株)神山温泉 神山旬感工場**  
●名西郡神山町神領本上角  
●TEL.088-676-1117  
●http://kamiyama-spa.com



**藍の館 [藍住町]**

**藍のことがすべて分かる専門の博物館**

藍染めは言わずと知れた徳島県の伝統工芸です。徳島ブランドとしてハンカチ、手ぬぐい、タオル、Tシャツ、のれんなどの布製品をはじめ遊山箱や傘、変わったものでは真珠などに染め、お土産品や日用品として人気を得ています。  
藍の館では藍染めの製品づくりから販売まで行うとともに、藍染めの資料や道具を展示して年間約3万人の来館者がある観光施設です。また藍染めの体験もでき、ここに来れば藍のことがすべて分かる専門の博物館です。



**藍の館**  
●板野郡藍住町徳命字前須西172  
●TEL.088-692-6317  
●休館日/毎週火曜日(祝日は開館)、12/28~1/1  
●開館時間/9:00~17:00(藍染め体験は9:00~16:00)  
●詳しくは、藍住町ホームページへ



**昭月堂本店 [北島町]**

**代々の味と伝統を守り続けて**

昭月堂本店は元は、徳島市佐古にありました。北島町に出店したのは昭和11年頃のことです。今年創業78年の和菓子店です。店は3代目の山丸義光さんが奥さんと二人で切り盛りしています。老舗店らしく、店の常連客は祖父の時代からの付き合い



**昭月堂本店**  
●板野郡北島町高房堤下21-12  
●TEL.088-698-2301  
●年中無休(元旦休み)  
●http://www.shougetsudou.com



米焼酎 純米吟醸原酒

**(株)高鉾建設酒販事業部 [上勝町]**

**棚田米と湧き水がつくった 人情酒**

上勝町は全国的にも有名な「彩」や上勝晩茶の生産で知られるオリジナルブランドを持つ元気な町です。この町にもう一つ新たなブランドに育ちそうな商品ができました。それは町内に沢山ある棚田で収穫した米から作られたお酒です。上勝は急峻な山々に囲まれ、標高が高く空気が澄んで美味しいお米がとれます。また、水もきれいで酒造りに適した環境が整っています。この環境に人々の情熱が加わり、まるやかで口当たりのいいお酒ができました。是非お試しを。



**高鉾建設酒販事業部**  
●勝浦郡上勝町傍示西峯146-4  
●TEL.0885-44-1388  
●FAX.0885-44-5388  
●http://www.sake-takahoko.com/  
●info@sake-takahoko.com